

今求められる NGOと企業の パートナーシップを 考える



外務省令和6年度NGO研究会
「NGOと企業のパートナーシップ」シンポジウム

主催：外務省
共催：一般財団法人 CSOネットワーク
後援：株式会社東急エージェンシー POZI

外務省ご挨拶

外務省NGO協力推進室は、資金協力、能力向上支援、対話を連携の柱として、開発協力における戦略的パートナーであるNGOとの関係強化に取り組んでいます。その一つであるNGO研究会の令和6年度事業として、CSOネットワークに委託し、「NGOと企業のパートナーシップ～成立ちと現在から新しい開発協力大綱も踏まえた今後の在り方を考える～」をテーマに、NGOと企業の連携強化に向けた調査・研究を行います。

NGOと企業の連携については、企業の社会貢献の担い手としてNGOが関与する従来の関係から、双方の強みを組み合わせることで相乗効果を高めながら一緒に社会課題に取り組む新たな関係に移行しつつあります。こうした中で、本事業は、現在の連携の実態や課題の調査、それを踏まえた連携強化に向けた具体的提案を打ち出すものであり、時宜を得たものになります。昨年改定された開発協力大綱においても多様なアクターとの連帯を重視しており、NGOと企業の連携強化は非常に重要です。

NGOと企業のパートナーシップのために、本研究会の調査・報告が積極的に活用され、更なる連携強化が行われることを期待いたします。

プログラム

14:00-14:05	開会挨拶 外務省 国際協力局審議官(NGO担当大使) 日下部 英紀
14:05-14:10	歓迎挨拶 東急エージェンシー 丸原 孝紀
14:10-14:15	趣旨説明 CSOネットワーク 長谷川 雅子
14:15-14:35	基調講演 国土館大学 中山 雅之
14:35-14:50	調査報告 CSOネットワーク/EMA 楯 晃次
14:50-15:05	事例報告 セーブ・ザ・チルドレン 大田原 英介
15:05-15:20	事例報告 ジャパン・プラットフォーム 木島 雅彰
15:20-15:30	休憩
15:30-16:20	パネルディスカッション(ファシリテーター 中山 雅之) 登壇者 セーブ・ザ・チルドレン 大田原 英介 ジャパン・プラットフォーム 木島 雅彰 WELgee 渡部 カンコロンゴ 清花 NTTデータグループ 金田 晃一 朝日新聞 with Planet 木村 文
16:20-16:25	講評 外務省 NGO協力推進室 室長 岩上 憲三
16:25-16:30	閉会挨拶 CSOネットワーク 古谷 由紀子
16:30-17:00	茶話会 (交流会)



アンケートは
こちらから



国土館大学21世紀アジア学部 学部長 中山 雅之

イノベーションと戦略構築の教育を専門とし、エネルギー企業、商社、鉄道会社、製薬会社、家電メーカー、化学品メーカーなどのマネージャーを対象とした教育カリキュラムの構築と教育・コンサルティングを担当する。NGOについては2005年よりJANIC次世代リーダー研修から関わり、JICA・NGO組織基盤強化経営アドバイザー、JANIC理事、Panasonicサポートファンドの海外助成審査委員長などを務める。パルシック理事、シャントイ国際ボランティア会監事、日本国際ボランティアセンター監事。



(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 大田原 英介

パートナーリレーションズ部 法人連携チーム オフィサー。電気/日用品メーカー営業・商品企画を実施、JICA青年海外協力隊で南米パラグアイ国NGOにて起業家支援に従事、(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)にてNGOと企業のセクター連携促進を担い、(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンにて企業連携に従事し大中小の様々な産業の企業との連携促進に携わる。



認定NPO法人 ジャパン・プラットフォーム 渉外広報部 部長 木島 雅彰

民間企業での経験を経て、2020年3月に入職。国内外の自然災害被災者や難民・避難民への人道支援の拡充に向け、ファンドレイジングおよび広報業務に従事。特に企業とNGOの連携を通じた支援の推進に取り組む。



NPO法人 WELgee 代表理事 渡部 カンコロンゴ 清花

日本に来た難民の活躍機会を作り出すNPO法人WELgee代表理事。様々な背景を持つ子ども・若者が出入りする実家で育つ。大学時代はバングラデシュの紛争地にてNGOの駐在員・国連開発計画(UNDP)インターンとして平和構築プロジェクトに参画し、国家が守らない、守れない人たちの存在を目の当たりにして帰国。2016年に日本に逃れてきた難民の仲間たちとWELgeeを設立。「WELgee Talents」にて難民人材と日本企業を繋ぐ人材コーディネーション事業を展開。



(株)NTTデータグループ サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト 金田 晃一

ソニー、大和証券グループ本社、武田薬品工業、ANAホールディングス、NTTデータグループの5社にて、サステナビリティの経営統合に携わる他、NGO/NPOと約40の協働プログラムを推進。英国レディング大学院修士課程修了(多国籍企業論)。日本NPOセンター理事、経団連社会貢献担当者懇談会座長を歴任し、現在は、国際協力NGOセンター理事、日本ソーシヤル・イノベーション学会理事、赤い羽根福祉基金運営委員、全社協全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員を務める。



プログレス・コミュニケーションズ代表 朝日新聞「with Planet」副編集長 木村 文

国際基督教大学卒、米インディアナ大学ジャーナリズム学科修士課程修了。1992年、朝日新聞社入社。山形、山口、福岡、沖縄勤務を経て、2000年からバンコク特派員、マニラ支局長。2008年退社、翌年カンボジアへ移住。現地で情報誌を発行。2021年に日本へ拠点を移し、記者、編集者などとして活動。2023年からは朝日新聞「with Planet」の副編集長。2024年から国連人口基金メディアサポート。J Waveの「Jam the Planet」に出演中。